

図書館員のひみつの本棚 第135回

今回は歴史小説です。

『闇の女王にささげる歌』

ローズマリー・サトクリフ／著 乾 侑美子／訳 評論社 2002年 1,728円

<お勧め年齢>

乳幼児—— 低学年—— 中学年—— 高学年—— 中学生☆
高 校☆☆☆ — 一般☆☆☆

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

女王ブーディカ、ケルトの民族を集結させ、ブリテン島に侵攻してきたローマ帝国と、民族の尊厳を守るために戦った伝説の女王。イギリス人なら誰でも知っているという彼女を、女王の竖琴引きを語り手として描いた歴史小説。

ブーディカは女家長制だったイケニ族で、生まれたときから女王となるべく誇り高く育つ。しかし、イケニ族の暮らすブリテン島に侵攻し、占領を開始したローマ帝国は女王を認めなかった。彼らは、ブーディカの夫でイケニ族の王であるプラスタグスの死をきっかけに、イケニの民と領土と、一族の尊厳を力づくで奪う行動に出る。それまで、ローマ帝国との同盟の道を選んできたイケニ族だったが、ブーディカは、ローマ帝国に虐げられてきたケルトの民族を集結させ、民族の尊厳を守る戦いを始めることを決意する。それは、イケニの女王が闇の女王となった日だった。

<子どもに手渡す時のポイント>

物語の舞台となっているブリテン島がたどってきた歴史について、少し説明を加えてあげると、物語の成り立ちが理解しやすくなると思います。ただ、それを知らずに読んでも、途中で投げ出すことができなくなるほど力のある物語です。作者は他にもブリテン島を舞台にした歴史小説を数多く書いているので、気に入った生徒にはぜひ他の作品も紹介してあげてください。



※他の作品

- ・第九軍団のワシ (岩波少年文庫) 岩波書店
- ・運命の騎士 (岩波少年文庫) 岩波書店
- ・辺境のオオカミ (岩波少年文庫) 岩波書店

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか